

委員会レポート

総務

閉会中の各委員会活動状況

職員の 勤務時間が短縮



役場1階フロア

8月21日協議会開催
平成20年度人事院勧告で勤務時間に関する勧告がされた。
◎あらかし
職員の勤務時間は、現在、1日8時間、1週40時間であるが、近年の民間企業の所定労働時間の状況から、

平成21年4月1日から、1日7時間45分、1週38時間45分に改定することが適当であるとし、これまでの行政サービスを維持し、行政コスト増加を招かないことが基本であり、公務能率の一層の向上に努めるよう勧告。

広域行政の まちづくり

- Q** 短縮された15分をどうされるのか。
A 昼の12時から12時15分までを短縮する方法と、5時15分までの勤務時間を5時で切り上げる2案があり、職員組合と調整していく。
Q 非常勤職員の給与に影響もどるが。
A 雇用単価が840円から868円に上がる試算があるので参考にした。



さつま町の行政改革を視察

7月8日～10日、宮崎県鹿児島県の4市1町を視察した。

■宮崎市

平成18年1月1日に、宮崎市、佐土原町、田野町、高岡町の1市3町が合併した。平成18年4月から「地域コミュニティ課」を新設し、広域行政を推進している。

■阿久根市

安全、安心の街づくりの指針をたて各課で政策推進にあたっている。

■さつま町

平成17年3月22日に旧3町が合併した。

行政改革大綱を定め、町民の視点に立った改革を進めている。

■指宿市

平成18年1月1日指宿市、山川町、開聞町と対等合併した。広域人事での職員管理に苦勞している。

■南九州市

平成19年12月1日に合併した。世界の恒久平和に寄与するため「知覧平和会館」を中心に平和学習に取り組んでいる。

産業建設

水道ビジョン

示される

A 最近、ごみが増加傾向にある。ごみ処理に多額

の経費がかかり、減らしていくためにも区長会などや広報でPRしていく。

調したものを望むが。

8月20日協議会開催

Q 将来人口4万4000人目標で、1日最大給水量を1万8800トンまで上げるのは、カラ料金が懸念されるが。

A 現在では単年度ごとに給水申込みをするため、カラ料金を取られる心配はない。

Q 老朽化した施設の更新と財政計画は。

A 平成30年度までに56億円をかけ更新していく。財源は、工事負担金21億円、留保資金33億円、その他1億4000万円と試算している。

ごみ減量化対応再度PR

Q 広報「ごみメタボにご注意」とPRしているが、ごみ減量の取り組みを強



永野公園にある配水場

まちづくりと堆肥化など視察

7月1日から3日まで秋田県の4市を視察した。

■横手市

旧平鹿町の醍醐地区で、子育てと仕事が両立できる住環境整備、交通環境改善を5年間で推進。ファミリー世代向けの公営住宅建設と子育て支援事業などで、定住人口が増加している。

■大館市

安心・安全な農産物を生産者に供給する循環型農業を推進するため、エコタウン計画でコンポストセンターを取り組んでいる。生ごみと畜糞を原料にしたリ

サイクル堆肥は、農家に販売しているが人気があり不足している。

■仙北市

角館の武家屋敷通りを中心に、訪れる観光客を誘導し回遊性を高めるまちづくりであった。電線の地中化や、側溝の蓋まで舗装をかけて道路幅を確保している。

■大仙市

道の駅「協和」は、地場産品の直売、レストラン、陶芸の里、自然体験公園などの複合施設で、第3セクター方式で運営されている。



リサイクル堆肥 土っ恋しよ

文教福祉

新春駅伝

町内を走る

8月18日協議会開催

Q なぜ今年度からコース変更をするのか。

A 「幸田」誕生100年を記念しておこなう。

Q コース内容は。

A 中央公園を出発し、鷲田く野場く六栗をまわり、幸田駅前から中央公園に

戻るコースで、区対抗駅伝とする。

Q 全体の距離は。

A 駅伝は8区間で10.8km、ジョギングは2.4kmとする。

市町では給食費の値上げをしているが、本町は大丈夫か。

A 調理者の創意工夫で取り組み、当面は値上げしない方向でいく。

学校給食費の

値上げはあるか

Q 物価高に伴い、近隣の



今年の新春駅伝大会

議会活性化への取り組み

7月15日・16日の2日間奈良県の広陵町と斑鳩町を視察した。

■広陵町

平成18年3月、議会活性化検討委員会を設置

(1) 平成18年臨時会で議員提案し、政務調査費を減額した。

(2) 会議録の自治会配布を廃止した。

(3) 費用弁償や常任委員会などの視察研修を廃止した。

(4) 議会専用車を一般公用車に転用した。

■斑鳩町

議会の活性化への取り組み

(1) 定例会の会期日数は年間70日程度である。

(2) すべての委員会の傍聴を許可している。

(3) 一般質問は毎回10名程度である。

(4) 平成19年度から予算を専門的に審議する予算委員会など5常任委員会に改編し、議員は2つの常任委員会に属している。



斑鳩町を視察

議会運営

総合開発

新駅と新市街地の
まちづくり



建設中の新駅を視察

6月23日、名古屋市緑区の新駅(仮称)大高南駅および、周辺を視察した。広域道路網などの接点で交通の利便性を生かしている。名古屋市の東南部の交

通拠点として、JR新駅、商業施設、総合病院など新市街地の形成を図っている。

事業名
大高南特定土地区画整理事業

経緯

平成6年 JR新駅計画
推進の基本方針締結
平成7年 都市計画決定
平成17年 基本協定締結
平成18年 工事協定締結
平成19年 新駅工事着手
平成20年 大型商業開店
平成21年 新駅開業予定

概要

組合設立 平成7年6月
施行面積 121.7ha
総事業費 約26.8億円
施工期間 平成7年度から23年度まで

第1回臨時会

学校給食センター
10億2585万円

第1回臨時会が6月30日に開かれた。上程議案は、道の駅設置条例および工事契約4件(別表)でした。

道の駅

道の駅の管理・運営は、指定管理者

◎ 駅の設置目的は、地域の農産物などの展示販売などによる地域産

業の活性化を図るとともに、道路利用者に対し休憩場所を提供するもの。
(全員賛成で可決)

幸田小学校増築

◎ 校舎2棟、倉庫及び屋外トイレの工事契約を審議

Q 雨もり対策は。
A 過去の経験を生かし、万全を期していく。
(全員賛成で可決)

給食センター
関係

Q 予定価格に対し、落札価格割合が73%であるが、問題はないか。
A 予定(見積り)価格は、県の基準単価などで計算した。落札価格は、結果である。

Q 施設規模で、5000食/日対応となっているが、将来をみて妥当か。
A 現在、小中学校合わせて3400食/日

あり、対応できる。
Q 自前調理と災害時の対応は。
A 炊飯設備はないが、回転蒸気釜を10台用意した。
(全員賛成で可決)

工事の請負契約	入札(落札者)	契約金額
道の駅建設	和幸建設(株)	1億1850万円
幸田小学校増築	(株)加藤工業	1億9110万円
給食センター改築	小原建設(株)	7億6335万円
給食センター厨房設備	(株)中西製作所	2億6250万円